

\\ 大好評! \\

物語で図書館に必要なスキルの考え方が学べる
「教えて!先生」シリーズの第5弾!

齊藤先生。ネット時代の レファレンスって 何が大事なの?

2024年
10月31日
発売!

～ストーリーでわかる本とネットの
レファレンスサービスの考え方～

監修: 齊藤誠一 編集・発行: DBジャパン



図書館業務に役立つ考え方が物語で学べる「教えて!先生」シリーズ

エキスパートに学ぶ! ネット検索よりも一歩進んだ
「図書館員によるレファレンス」の考え方

- ▼利用者サービスとしてのレファレンスのあり方とは?
- ▼人が関わるレファレンスだからこそできることは?
- ▼ネットと本のハイブリッドなレファレンスって?
- ▼「調べる楽しさ」を伝えるのも大事!

読者特典!
オリジナル資料が
ダウンロードできる!
DBジャパン

利用者に寄り沿ったレファレンスサービスを目指す
司書・遠藤翔子が齊藤先生と出会い、本とネットを
活用したハイブリッドなレファレンスサービスや、
「調べる楽しさ」を実感してもらうための
コミュニケーションやその考え方の基礎を学んでいく。

※この作品はフィクションです。齊藤さんと千葉経済大学短期大学部、立川市中央図書館、および新海紀代美氏、馬場啓氏、馬場吉蔵氏以外の登場人物、団体、出来事などはすべて架空の名称です。

A5・192ページ 定価2,970円(本体2,700円+税10%) ISBN 978-4-86140-554-9

読者特典資料

「レファレンスの心得」と
「レファレンス記録の書き方の模範例」
が見られます!

「教えて!先生」シリーズは……

図書館業務に役立つ“考え方”が、各テーマのエキスパートから、物語を通して学べるシリーズ。第6弾『塩見先生。学ぶことが楽しいと思ってもらうために図書館では何ができるの?～ストーリーでわかる生涯学習サービスの考え方～(仮)』も近日発売予定!

2時間で読めてすっきりわかる

目次

- 第1章 翔子、レファレンスサービスの担当者になる
- 第2章 翔子、齊藤さんのセミナーに参加する
- 第3章 翔子、齊藤さんからレファレンスサービスに対する姿勢を学ぶ
- 第4章 翔子、レファレンスの壁にぶつかる
- 第5章 翔子、レファレンス記録の大切さを学ぶ
- 第6章 翔子、見せるレファレンスサービスと、コミュニケーションの基本を知る
- エピローグ
- あとがき

ICT化の流れ、そしてAIの進化が目覚ましい現代ですが、図書館には情報に対する水先案内人がいて、情報源のハイブリッドな活用と“人と人との関係”を大切にしているという主張は、今後も変わらないでしょう。そういったコミュニケーションを密にできる、レファレンスサービスをはじめとする図書館のサポートが、頼りになるところ、楽しいところになることを願っています。 本書「あとがき」より



監修者: 齊藤 誠一

千葉経済大学短期大学部名誉教授(司書課程担当)。前千葉経済大学総合図書館長。東京都府中市出身1977年、青山学院大学卒業(司書資格取得)。同年、司書として立川市に採用される。中央図書館開館後、調査資料係長としてレファレンスサービスを担当。2006年より千葉経済大学短期大学部で司書課程の専任教員となり、現在に至る。2011年3月、筑波大学大学院図書館情報メディア研究科博士前期課程修了。元日本図書館協会施設委員。日本図書館情報学会会員。

もっと学びたい方に…… 司書トレ

齊藤先生が本書で紹介する時代の変化を見据えながら、利用者からの情報ニーズに的確に応えるためのテクニックの一部を紹介。また、レファレンス・インタビューやレファレンス記録の残し方にも言及する。

『レファレンス・サービスの実践』

<https://study.shisho.online/contents/001-ss-2/>



スマホでも見られる動画28分
980円(税込)

取扱書店